

みなさんの声かけにより、地域の子どもを守っていきましょー!

ふなやま

第20号

大事なことは何だろうか？

下六人部地区福祉推進協議会 会長 武田



まだまだ厳しい暑さが続いておりますが、下六人部学区の皆様方にお

かれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃は福祉推進協議会に対し深いご理解ご協力賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。とある新聞に、ちよつと参考になる記事が載っておりますので、ここで一部紹介させていただきます。天皇陛下の退位の日が来年の四月三十日になったことを受け、平成の時代認識などについて尋ねる全国世論調査の結果が掲載されておりました。

平成とはどんな時代か

- 「動揺した時代」 42%
- 「沈滞した時代」 29%

- 「進歩的な時代」 25%
 - 「保守的な時代」 21%
 - 「安定した時代」 19%
 - 「暗い時代」 9%
 - 「活気ある時代」 6%
 - 「明るい時代」 5%
- 平成で一番印象に残る世の中の出来事

- 「自然災害」 52% (東日本大震災、阪神淡路大震災)
 - 「オウム真理教関連の事件」 7%
 - 「福島第一原発事故」 4%
- 平成の時代を振り返ると多様性が…
- 「認められる社会になった」 48%
 - 「認められない社会になった」 25%
 - 「ネットの発達で社会は…」
 - 「よくなった」 35%
 - 「悪くなった」 36%
 - 「人のつながりや結びつきは…」

- 「豊かになった」 9%
 - 「希薄になった」 79%
- 人はいつの時代も天災による悲しみや苦しみ、目に見えない不安と闘ってきた歴史があり、それは今も昔も変わるものではありません。

変化したのは、衣食住環境の向上はもちろんのこと、急速な発展の根底にあるのは、あらゆる情報伝達媒体・コミュニケーションツールの、携帯電話・ネットなどのデジタル式(ハイテク・自動)の発達により、つながりや結びつきの速さや数が断然増したことにあります。しかし、この世論調査結果を見ても、世の人々は、今の社会や人間関係に十分満足しているとは一概に言い難いものであります。

今後、福祉推進協議会は、逆にアナログ式(ローテク・手動)で地域の皆様方と、いろいろな事業を通じて人と人が直に関わり、安心安全で、人とのつながりがより深いものとなるよう、地道な活動を行ってまいりたいと考えております。もうすぐ平成が終わろうとしています。年号の変わり目に関係なく、これからの時代に大事なことは何だろうか?と、少し考えてみる機会の一つとなりました。

緊急時、何ができるか

下六人部子ども会代表

中島

子ども会が七月七日、八日に企画していた、六年生対象のサマーキャンプは残念ながら大雨により中止になりました。それから数日間に渡り、雨が降り続き西日本豪雨になりました。この災害では、たくさんの方が被災され亡くなれています。

各地での救助の様子が連日報道されている七月十日、PTAの救命法講習会に参加してきました。東分署の消防署員の方と、六人部地区の消防団員の方々に指導していただきました。

まず、意識確認するために「大丈夫ですか」と声をかける。助けを呼ぶ。協力を仰ぐという事。緊急時とはにかく、人が必要であるということでした。

今回の講習も重要ですが、日頃から近所や地域の方とコミュニケーションを取り合って、緊急時に協力が取れる地域社会を築いていく事も必要だと思います。

まずは、声かけからはじめてみましょー。



平成29年度 事業報告および会計決算

下六人部地区福祉推進協議会は、下六人部地域の福祉の推進と安全安心な地域づくりを目的に次のような取組を行いました。

1 福祉事業

- (1) 下六小6年生と交流事業(食育事業) 食生活改善推進員による
平成29年12月15日(金) 下六人部小学校6年生との世代間を越えた交流を目的に朝食の大切さの授業をしました。
- (2) 文化祭協賛事業
平成29年11月5日(日) うどんとぜんざいの販売
- (3) ひとり暮らし高齢者の方へのクリスマスプレゼント配布
平成29年12月10日(日) クリスマス配食として120名分(配達81名)

2 研修会

役員・委員研修会 平成29年9月12日(火) 姫路市「太陽公園」 障害者自立支援施設見学 参加者22名

3 広報

「ふなやま」の発行 平成29年8月(第18号) 平成29年3月(第19号)

4 支援事業

子どもの安全、保育園・小学校・中学校との交流及び「ふれあいサロン」活動など



会計決算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

■収入の部

項目	予算額	決算額	摘要
前年度繰越金	570,601	570,601	前年度繰越金
社会福祉協議会補助金	110,000	120,000	平成29年度補助金
		40,000	補助金 平成30年度返金
下六人部公民館補助金	50,000	50,000	平成29年度補助金
共同募金助成事業	80,000	68,150	市社会福祉協議会
雑収入	200,060	344,006	文化祭収益金 貯金利息
合計	1,010,661	1,192,757	

■支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
会議費	20,000	4,714	総会、役員会お茶代
広報部	40,000	39,744	ふなやま発行(2回)
各部活動費	200,000	227,958	文化祭費用
福祉部	90,000	61,453	クリスマスプレゼント費用
研修部	40,000	59,913	視察研修費
その他	40,000	1,077	食育授業材料費
(共同募金助成事業)		30,000	市社会福祉協議会へ返金
各部会議費	16,000	3,456	4部会会議費
事務費	10,000	3,894	事務用品(封筒、用紙、インク 他)
サロン活動費	20,000	20,000	5,000円×4地域
予備費	534,661	5,000	茂木様御香典
		3,592	社協研修会参加費 2名分
		74,800	文化祭反省会費
合計	1,010,661	535,601	

(収入総額) 1,192,757円 - (支出総額) 535,601円 = (差引残高) 657,156円

平成30年3月31日 下六人部地区福祉推進協議会 会長：武田義久 会計：藤原佳代

平成30年4月3日 会計監査の結果、上記の決算報告は適正であることを認めます。

老人会会長：水谷郁太 農区長会長：大槻 力

「幸せを生きる」は、福知山市が平成三年に制定した「福知山市市民憲章」です。共に幸せを生き、誰にとっても幸せな地域づくりを目指し、福祉推進協議会では様々な事業に取り組んでいきます。地域の皆様には、引き続きご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

◆委員
高橋 武田 芦田 山田 大出 竹中 江島 山口



岩間からの「ふなやま」の遠望です。

編集後記

自治会 公民館 地元市議会議員 老人会 消防団 小学校 中学校 保育園 農区 子ども会 保育園保護者会 小学校PTA 中学校PTA 民生児童委員 人権教育推進委員会 人権ふれあいセンター 下六人部児童センター いずみ会 食生活改善推進員 ほんえみの里



下六人部地区福祉推進協議会は次の団体によって構成されています。